研究情報の公開内容

研究課題名	高齢者の介護予防ならびに健康増進に関する研究
研究の意義・目的	高齢者が有益性の担保されたデジタルデバイスを楽しみながら活用することは、社会交流の促進や生活行動の拡大、運動量の増大につながり、介護予防だけでなく健康寿命の延伸にも寄与できる可能性がある。本研究では、松原市の住民を対象に、介護予防および健康寿命の延伸を目的とした介護予防アプリ利用と健康指標との関連を検討することで、介護予防アプリの有益性を評価する。介護予防アプリに搭載する介護予防プログラムやアプリ収録情報を解析することで、高齢者に対する介護予防および健康寿命の延伸のための効率的な保健プログラムの検討を行う。
研究期間	倫理委員会承認後～ 2029 年 3 月 31 日 (予定)
研究対象者の範囲	松原市の住民 (おもに 65 歳以上の高齢者)
利用する情報	松原市高齢介護課が保有する既存情報である、介護予防アプリ説明会で取得したアンケートデータ、介護予防アプリデータ、要介護情報
研究機関の情報	【研究機関ならびに実施体制】 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野 松原市高齢介護課
研究成果を公表する方法	研究成果については、国内外の学会等で発表します。
情報の提供方法	個人を識別できないように匿名化した仮名加工情報を松原市高齢介護課から大阪公立大学に提供します。 分析は、個人を識別できない統計的処理を行います。
同意しない場合の手続き	大阪公立大学では、匿名化された情報のみを取り扱うため、本研究に同意しない場合は、松原市高齢介護課の窓口へご連絡ください。一度匿名化を行なったデータに関しては、個人情報の復元ができないため、同意の撤回はできません。
情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	公立大学法人 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野 教授 河野あゆみ